

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称		〔37〕 東京都台東区立千束児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31		
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ					
(3)経営状況	(26年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,824,133,063円,支出2,782,383,774円,収支差額41,749,289円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区千束3-20-6					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の乳幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日まで：午前9時半～午後6時 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日を除く) 一部開放：日曜日(第三日曜日を除く)・5月5日 午前9時半～午後6時					
(5)規模	RC4階建て 3・4階 事務室・休憩室・図書室・遊戯室・図工室・集会室兼音楽室・こどもクラブ室等 千束保育園併設					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団及び個別の指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	33,041,000	36,064,000	33,196,000	32,376,000	32,127,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	33,041,000	36,064,000	33,196,000	32,376,000	32,127,000
決算	委託料	34,318,317	30,310,519	31,344,530	31,086,344	32,008,163
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	10,000	0	0	503,417	36,200
	管理経費	34,328,317	30,310,519	31,344,530	31,589,761	32,044,363
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	23年度	24年度	25年度	26年度
開館日数		日	308	334	333	334
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (28年度)	24年度	25年度	26年度
利用者数		人	36,000	28,954	35,228	32,308

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み

地域懇談会において、民生・児童委員や青少年委員等から、今後の児童館の取組みに係る幅広い意見をいただき、児童館活動に活かした。
時間を区切った中高生の利用スペースの確保や、乳幼児の遊具を充実するなど、年齢に配慮した環境整備を行い、利用促進に努めた。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目									
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(b)サービス水準 [2]	(c)職員配置 [2]	(d)職員研修 [2]	(e)案内・接遇 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(g)自主事業の成果 [-]	(h)個人情報保護 [2]	(i)緊急時対応 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(b)備品の管理 [2]	(c)清掃・衛生管理 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(c)利用者数等の目標達成 [2]		(d)利用しやすい環境整備 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]				
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]			(c)収支計画の達成 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]				

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	地域の子育て支援の拠点として、乳幼児親子が気軽に集り、交流を深められるように努めている。特に要保護児童については、関係機関との連携を迅速に行い、家庭を含めた支援を行っている。
(2)施設の維持管理	A	定期的な点検、速やかな補修を行い、安全、安心を心がけた施設管理に努めている。感染症の流行時には、こまめに室内の換気・遊具の消毒に努め、清潔で快適な環境を心掛けている。
(3)利用者の満足度	A	地域行事に積極的に参加し、地域との交流を図っている。また、「児童館だより」を児童委員等にも広く配布することで、館運営の意見をもらい、活動の改善に活かしている。
(4)収入支出	A	リサイクルを推進するほか、消耗品の一括購入や長期契約により経費の効率化を図っている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	児童館を利用する機会が少ない中高生が、遊戯室の利用方法の工夫により大幅に増えた。また、イベントでのボランティアの受け入れを積極的に行い、児童健全育成の拠点としての役割を果たしている。
-----------	---

11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応

今後も、利用者ニーズや地域の要望に合わせたきめ細やかな事業展開を行い、対象年齢に応じた施設の環境整備に努める。また、関係機関との連携を強め、情報の共有を引き続き図っていく。